

第62回 東京都会計基準委員会 議事要旨

【開催日時等】

- 日 時 令和6年8月20日（火） 15時～17時
- 場 所 東京都庁第一本庁舎 南塔36階 会議室A
- 出席委員 公認会計士 薄井 誠
公認会計士 中川美雪
公認会計士 落谷竹生

【議題】

- ・ 開 会
- (1) 委員長及び副委員長の選任について
- (2) 令和5年度財務諸表（案）について
- (3) 令和5年度財務諸表の点検について
- (4) 東京都の財務諸表（概要版）について
- (5) その他

【配付資料】

- 資料1 東京都会計基準委員会設置要綱
- 資料2 令和5年度財務諸表（案）について
- 資料3 令和5年度財務諸表の点検について
- 資料4 東京都の財務諸表（概要版）

【議事内容】

委員会では、議題に沿って以下のような内容の協議や意見交換が行われた。

(1) 委員長及び副委員長の選任について

事務局より、本委員会は委員改選後の初めての委員会となるため、東京都会計基準委員会設置要綱第2条第4項に基づき、委員長は委員の互選により選任し、副委員長は委員のうちから委員長が指名する旨を説明した。

(委員による委員長の互選)

- ・委員の互選により薄井委員を委員長に選任し、薄井委員長より中川委員を副委員長に指名した。

(2) 令和5年度財務諸表（案）について

事務局より、資料2を用いて、令和5年度財務諸表の概要と令和4年度からの増減要因分析を報告した。

(増減要因の分析)

- ・貸借対照表について、東京強靱化推進基金やスマート東京推進基金の拡充に伴う特定目的基金の増加や（公財）東京都環境公社への出捐金の増加等により、資産総額が増加し

た一方、都債の減少等により、負債総額が減少し、正味財産は増加したことを説明した。

- ・行政コスト計算書について、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む中、収入面では、都税収入が堅調に増加した一方で新型コロナウイルス感染症対策に係る国の交付金が減少し、費用面では、同対策に係る補助費等の支出が減少した一方で018サポートの支給開始に伴い扶助費が増加したことなどから、当期収支差額は前年度と同水準の金額となったことを説明した。

◎（公財）東京都環境公社への出捐金等が1,130億円増加しているが、この出捐金は、投資の回収ではなく事業費として使われることを目的として支出するもので、仮に連結をしたら費用に置き換わるようなものという理解でよいのか。

→出捐先団体の貸借対照表に見合いの金額が計上されているという認識でおり、仮に連結した場合は相殺対象になると思われる。（事務局）

◎過年度損益修正損が187億円増加しているが、この金額について、会計管理局から所管部局に対し、何らかのメッセージやアクションを要する水準と考えているか。

→過年度損益修正損益については、資産形成有無や耐用年数等の訂正に伴い、例年、一定程度の金額は発生しており、今年度の金額は、東京都の財政規模から考えて、特別高い水準とは捉えていない。（事務局）

（３）令和５年度財務諸表の点検について

事務局より、資料３を用いて、官庁会計と財務諸表の決算値の正確性を照合等により検証した結果を報告した。

（官庁会計の決算値との差異把握）

- ・行政財産や普通財産、債権等について、官庁会計との制度の違いにより発生する差異等を説明した。

（４）東京都の財務諸表（概要版）について

事務局より、資料４を用いて、財務諸表から分かる指標等を説明した。

（財務諸表から分かる指標等）

- ・財務活動を除くキャッシュの安定性を示す「行政活動キャッシュ・フロー収支差額」について、令和５年度は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む中、税収が堅調に増加した一方で、新型コロナウイルス感染症対策関連の行政支出が減少したことなどから、三期連続でプラスの値を維持していることを説明した。
- ・耐用年数に対して、資産の取得からどの程度経過しているかを示す「有形固定資産減価償却率」について、残価率に係る会計方針を変更した平成３０年度を除き、過去１０年間を通じて、緩やかな上昇傾向が続いていることを説明した。

◎視覚の不自由な方に向けて、紙面に音声コードを印刷しているとのことだが、見えづらい方はそれすら気が付かないことがあるのではないかと思うが、どのように使われているのか。

→音声コードの印刷位置に半円の切り欠きを入れることで、視覚の不自由な方でも音

声コードの位置が分かるようにしている。(事務局)

- ◎「令和5年度決算のポイント」の見出しが、「社会経済活動の正常化の進展と未来への投資の展開」となっており、昨年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行後初めての決算という位置付けだと思うが、都のアクティビティとして、ここに記載している事業以外に特に言及すべきものはあるか。

→都としては様々な事業を推進しているが、財務諸表の主要増減説明の内容とリンクする記載内容としている。(事務局)

(5) その他

(サイバーセキュリティについて)

- ◎最近、サイバー攻撃や基幹システムの更新といった言葉が話題になっているが、情報漏えいやレピュテーションなどのリスクに対する都の対策や体制、基幹システムの更新時期について、後日で構わないので伺いたい。

→サイバーセキュリティは、所管するデジタルサービス局を中心に、都全体で力を入れているところであり、次回の委員会で具体的な取組を紹介させていただく。(事務局)

○ 今後の予定

今回は、令和7年3月に以下の議題での開催を予定している。

- ・令和5年度財務諸表監査の報告について
- ・その他

以 上